

令和7年度 第1回 久留米市国民健康保険運営協議会議事録

1 日 時 令和7年8月19日（火） 13:30～14:30

2 場 所 久留米商工会館5階大ホール

3 出席者 （委員）

区 分	氏 名	出欠
公益代表	田中 功一	○
	石田 眞一郎	○
	大熊 博文	○
	長野 哲	○
被保険者代表	三宅 賢和	
	辻 トシコ	○
	刈茅 フサ子	○
	田中 真知子	○
保険医又は保険薬剤師代表	植田 省吾	○
	首藤 俊介	○
	石橋 裕二	○
	塘 信也	○
被用者保険等保険者代表	大淵 工	○
	権藤 裕子	○

（事務局）

健康福祉部	部長	川崎 勝之
健康福祉部	次長	野口 明仁
健康保険課	課長	千代島 智昭
健康保険課	主幹	伊藤 洋幸
健康推進課	課長	渋谷 達彦
地域保健課	課長	三浦 圭史 他

（傍聴者）

なし

4 会長・副会長の選出

会長に田中功一委員、副会長に石田眞一郎委員を選出。

5 報告事項

質疑要旨			
(1) 令和7年度久留米市国民健康保険運営協議会での協議事項について 質疑なし			
(2) 久留米市国民健康保険事業の状況 質疑なし			
(3) 令和6年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算（見込） 質疑なし			
(4) 令和7年度久留米市国民健康保険事業特別会計予算 質疑なし			
(5) 久留米市健康保険事業特別会計の財政状況 質疑なし			
(6) 子ども・子育て支援金制度について			
質問・意見等		回答	
委員	子ども・子育て支援金について、8年度から段階的な加算ということで、平均年額の国による試算の説明があったが、最高額になるとどのくらいになるか分かるか。	事務局	現時点では平均年額の試算しか国から示されておらず、最高額についてはお答えできない。県から納付金が示されたときに、久留米市で必要な保険料が決まる。
委員	子ども・子育て支援金は、子ども・子育て政策を強化する財源の一部になるとのことだが、具体的にどのような政策を国は言っているのか。	事務局	主なメニューとしては、児童手当拡充、妊娠・出産時の給付金支給、2歳未満の子どもを養育するために時短勤務を行う人への育児時短就業給付金の支給など、子育て世帯に対する経済的支援等がある。
委員	税ではなく、保険料に加算されるというのは、国民健康保険に関わるものだからということか。	事務局	国は、社会全体で子育て世帯を応援していくため、幅広く負担いただく仕組みとして、医療保険制度を選択している。 社会保険制度の中でも、医療保険制度が他の社会保険制度と比較して対象が広く、また医療保険には現行制度においても後期高齢者支援金などの世代を超えた支えの仕組みが組み込まれている。このようなことから、国は医療保険者から子ども・子育て支援金を徴収することとし、国民健康保険においても保険料に加算することが必要となった。
委員	子ども・子育て支援金分を含めた上で、令和8年度の料率を出すという理解で	事務局	現行の医療保険分、後期高齢者支援金等分、介護保険分に「子ども・子育て支援金」が追加され、その中で所得割額、均等割額を設定する。

	よいか。		
委員	保険料率について現状維持が続いてきたが、令和8年度から「子ども・子育て支援金」が加算されるので、新たな視点の検討が必要になるということによいか。	事務局	はい。
(6) 今後の久留米市国民健康保険運営協議会について(スケジュール) 質疑なし			
報告事項全体((1)～(6))について			
委員	①保険料は下がる傾向なのか、横ばいか。 ②また、被保険者の減少により保険給付費は減っているとのことだが、市民の健康づくりは進んでいるのか、お聞きしたい。	事務局	①久留米市の保険料の最終改定年度は平成22年度。これ以降、保険料は据え置きであったが、今後については、基本的に下がるということは現実厳しいと考えている。要因としては、1人当たりの医療費が高齢化に伴って年々上がってきており、この影響で、県に納める納付金が上がっていくことが見込まれる。これにより財政状況は厳しさを増していくことから勘案すると、あくまでも現時点での予測ではあるが、今後、どこかの時点で、保険料引き上げのための改定は、避けられないのではないかと考えている。 ②健康づくりについて、特定健診の分が、国民健康保険事業の予算で実施しており、受診率の向上や、保健指導の実施率向上に向けて取り組んでいる。なかなか上がりにくいところはあるが、その中でも特定健診は国・県より高い受診率となっている。保健指導については一部実施率が低いところもあるが、昨年度より向上できるよう取組みを進めている。 健康のびのびポイント(アプリ)も一部国民健康保険事業の予算で実施しており、昨年度末で1万人、直近では1万1000人ほど登録いただいている。今年度もさまざまなイベント等との連携を行い、アプリの登録者数を増やす、そしてその中で、ウォーキング、健康づくりを楽しみながらやっていただく、そういった取り組みで、市民の健康づくりに寄与していきたいと考えている。
委員	医療費が上がっているのは高齢化とともに、生活習慣病も要因の1つというふうに言われているので、健		

	康づくりについては、ますます力を入れて、啓発していただきたい。また、食生活についても、福岡県産、久留米市産の野菜をたくさん食べるだとか、そういった地道な啓発が必要かなと思う。あとは市民の意識を高めていく必要があると思うので、その辺りは各地域と連携して取り組んでもらいたい。 (意見)		
--	---	--	--